新評議員より一言

よろしくお願いします

1組　宮下　賢太郎

私が富士河口湖高校に入学してから過ごしてきた三年間は、本当にあっという間に過ぎていってしまったように思います。

私はこの三年間でさまざまなことを学び、部活動や日々の学校生活を通して成長していくことができたと感じています。また、学園祭や球技大会ではクラス全員が協力して、どの年も最高の思い出にすることができました。その中でも、自分の心に一番残っているのは一仲間と過ごした毎日の日々です。休み時間にみんなで話をして笑ったり、お昼を食べたり、掃除をしたり、愚痴を言ったり、勉強をしたり……。そんな毎日が本当に楽しくて、とても充実した生活をおくることができたと思います。

時にはつらかったことや学校へ行くのが嫌になったこともありましたが、それも今は良い思い出になっています。

卒業後は、みんなが自分の目標や夢に向かって進んでいくと思います。自分もそれに負けないように夢に向かって頑張っていきたいです。

2組　白壁　卓也

富士河口湖高校での三年間は、とても短く感じました。なぜなら紫光祭、球技大会、修学旅行など、毎日がとても充実していたからです。部活動においては、先輩との関わり方、感謝をする気持ち、何事も諦めないといったことを学ぶことができました。高校生活では一人ひとりが目標を持ち、それぞれの目標に向かい、三年間励まし合い頑張り、時には意見をぶつけ合う事もあり、時には笑い合って楽しむ、まさに青春と言える三年間でした。こんなにも素晴らしい高校生活が送れたのは、先生方や、家族、河高の仲間のおかげだと思っています。これらの経験を無駄にすることなく、感謝の気持ちを持ち、同窓生として河高の発展を願いながら未来に向かって進んでいきたいです。高校を卒業し、新しい生活が始まること、社会に出ることに期待の気持ちが高まりますが、もう少し仲間達と、高校生活を送っていきたい。そう思える三年間でした。良い思い出をありがとうございました。

3組　渡邊　信嘉

私がこの富士河口湖高校で過ごした三年間は、教養を身に付けるということはもちろん、何よりも幅広い人間関係を作り上げることができた三年間でした。

入学した時から今までで、たくさんの友達や先生、また、先輩や後輩に出会いました。その中でも特に、私と関わってくれた友達は、とてもかけがえのない存在です。楽しい時は一緒に笑ってくれる、困ったことがあれば手を貸してくれる、そんな仲間に出会えたことをとても誇りに思っています。また、三年間指導してくださった先生方にはとてもお世話になりました。生徒一人一人に親身になって関わってくれた先生方は、生徒たちにとって一生忘れられない恩師になることと思います。

最後に、これから先私たちは、各々の人生を歩むことになります。ですがその道を開いてくれたのはこの富士河口湖高校です。三年間恵まれた環境を与えてくれた母校に感謝します。

4組　近藤　和代

富士河口湖高校で過ごした三年間は、今思えばあっという間でした。その中でもたくさんの人と出会えて本当に良かったです。

高校三年間を振り返って見ると様々な思い出がよみがえってきます。学園祭、球技大会、修学旅行、部活動等全部私にとって大切な思い出です。辛い時も楽しい時も、側にいてくれたのは、友達や仲間でした。特にソフトボール部の仲間の存在は大きかったです。

支えてくれる人がいるから今の私がいます。友達や仲間以外にも、家族や先生方の支えもありました。そんな支えてくれた人達に出会えたことに感謝します。本当に富士河口湖高校の生徒で良かったです。これから一人一人違う道に進んで行きますが、高校生活で学んだことを生かし、人との出逢いを大切にしたいです。また、感謝の気持ちを忘れないで頑張っていきたいです。三年間ありがとうございました。

5組　堀内　佑紀

富士河口湖高校に入学したとき、これから過ごす三年という時間がとても長く感じられたのですが、実際に過ごしてみると、三年間はあっというまに過ぎてしまいました。まさに、「光陰矢の如し」ですね。

私は河高での三年間で、多くのことを得られました。素晴らしい友人たちや先生方と出会えたこと、みんなで協力して沢山のものを創り上げたこと、先生方に指導していただいたこと、壁にぶつかっても諦めずに頑張ったこと、互いに励ましあったこと、そして素晴らしい日々を過ごしたこと…。これら全てが何物にも替え難い貴重な経験であり、私の大切な宝物です。

私がこうして河高で充実した生活が送れたのは、家族や先生方、保護者の方々、地域の方々、そして、友人たちのおかげです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。卒業してからも、感謝の気持ちと三年間の大切な宝物を胸に頑張ります。三年間ありがとうございました。

6組　渡邊　謙斗

富士河口湖高校で過ごした日々はとても充実したものでした。最大行事である紫光祭を始め、修学旅行や球技大会、強歩大会、野球応援など、多くの行事に参加し、時には、運営することで、何かを成し遂げるためには、目標を持ち、努力して、仲間と協力することが大切だということを学びました。そして、たくさんの思い出もできました。中でも、三年間続けた部活動で得た知識や経験、それから、一年生のときに出会った六人の仲間…これらは、私の大切な宝です。

私に、このような思い出や、宝ができたのも、周りで支えてくれた方々のおかげです。先生方、先輩方、後輩達。クラスや学年の友達、生徒会本部役員のみんな、部活動の仲間そして、いつも一番近くで支えてくれた家族に感謝しています。

これからも、河高でできた思い出や仲間を、大切にし、そして、感謝の気持ちも忘れずに頑張りたいと思います。

7組　中村　俊太

富士河口湖高校で過ごした三年間は、私にとってかけがえのない唯一無二の財産になりました。高校生活を互いに支え合い、切磋琢磨をし合った友人達との出会い、未熟な私を全力でサポートし、背中を押して下さった先生方との出逢い。生徒一人一人が個性を出し合い、それらを調和させ、素晴らしい物を生み出す事ができた学園祭を含め、この高校生活三年間で起こった出来事全てが今の私を支えてくれているのだと強く感じます。

「人は周りの環境によって良くも悪くも変わる事ができる」本当にその通りだと思います。私は、友人達や先生方、そして家族等の周囲の人達の温かく大きな力添えで、良い方向へと変われたんじゃないかな、と思っています。私は本当にたくさんのものを富士河口湖高校からもらいました。今度は、私がその恩を返す番です。河高三十三期生として、誇れる人生を歩んでいこうと思います。

本当に、ありがとうございました。

雑感

33期　旧生徒会長　須山晶平

三月十一日の大震災で、私達は多くのものを失い、一方でごく普通であることの、日常の尊さを学んだ。

震災が起きたその日、私は初めて電気のない生活をした。一日だけで済んだため食料や水の心配はなかったが、もし二日以上続いたら普通の生活さえできなかったと思う。周りが暗い中、ろうそくの光を頼りにした食事は今でも忘れられない。電気のありがたさをひしひしと感じた一日だった。いつ電気が回復するか不安な中、私を勇気づけたのは家族であった。何かをしてもらうわけではないが、そこに一緒にいるだけで安心できた。もし私が一人だったら、不安に押しつぶされていたかもしれない。

今回のような災害は、いつどこで起こるのかはだれにも分からない。今回の経験から、日常に不自由なく生活できる事に感謝するとともに、支えてくれた家族の存在を一層大切にしていきたいと思う。

同窓会総会へ向けて

第33回同総会総会　実行委員長　加藤　源正

みなさんこんにちは。

私は第33回富士河口湖高校同窓会の実行委員長の加藤源正と申します。

卒業から20年経ち、自分が昔高校生だった事も忘れかけていた頃に、私達が同窓会を行う年だという事を知り、少し戸惑いながらも久しぶりに会った同級生達と一緒に準備を進めています。

地元を中心とした同級生が仕事の合間を縫って仲良く協力してくれる様子は、とても20年ぶりに会ったとは思えないほどです。

今年の同窓会開催日は7月7日に鐘山苑で行う予定をしています。14期生のみなさんにはぜひ参加していただき、旧交を温めあっていただければと思います。

また、記念事業として、ふじさんホール（富士五湖文化センター）でTVのコメンテーターとしても活躍されている小説家の室井佑月さんをお招きして講演会を行う予定です。

常日頃お世話になっている地域の皆様にもぜひご来場していただけたらと思います。

また、同窓会開催にあたって、今回も各方面に協賛金の御依頼をさせていただきたいと思います。

同窓会及び関係各社の皆様にはなにとぞご理解、ご協力いただければ幸いです。

昨年3月におきました東日本大震災の影響により日本中まだ大変厳しく不安定な日々が続いています。私達も今年の同窓会や記念事業の開催について皆で議論しましたが、なるべく早く地域や私達も明るく元気を出せるようにやろうじゃないかという結論になりました。そのためにも7月7日は必ず成功させる事ができるよう頑張ろうと思います。

最後になりますが同窓会及び記念事業が無事開催されるには同窓会実行委員会だけでなく在校生、OBの方々、先生方、関係者の協力なくしてはありえません。今後もご意見、ご支援を頂けますようお願いいたします。

それでは7月7日にお会いしましょう。

近況報告

14期　堀内敏彦

早いもので、河高を卒業して20年が経ちます。大学卒業後、実家の事業を継ぎ十数年、運よく結婚、そして二児の父となりました。二十代、三十代とあっという間に過ぎた気がします。今年三八才、働き盛りとは言われますが、日々仕事に追われる中、気になるのは身体のこと、腹の肉は下がり、髪の毛には力が無くなり、顔のシワは増えるばかり。子供が成長するとともに着実にエネルギーが吸い取られていく気がします。

そんな中、当時の生徒会長、加藤源正君から同窓会実行委員の誘いの電話がきました。「一緒に同窓会を成功させよう。」と。私の仕事は土日休みもない観光業、なかなか地域の人達と交流する機会も少なく、まして同級生と合う機会などほとんどありません。懐かしさと嬉しさに二つ返事で「やります。」と。とは言ったものの最初はあまりに久しぶりに会う人達ばかり、恥ずかしさのあまり気後れしてしまいました。でもみんな河高卒業生、思い出話で盛り上がりすっかり打ち解けました。

昨年の十一月位から、同窓会の準備が始まりました。各部署に分かれて活動中です。7月に記念事業と同窓会が開催されます。十四期のみなさん、二十年ぶりに同級生に再会しても気後れすることはありません。思い出話に花をさかせましょう。

『～同窓会総会を終えて～』

第32回同総会総会　実行委員長　亀田修宏

まず、第32回富士河口湖高校同窓会総会を無事に終了ができたことを、この場をお借りして関係者の皆様には厚くお礼申し上げます。また、初めて経験することばかりで、至らぬ点があったことについて、お詫び申し上げます。

私達は、早々に記念事業として今や全国的にも有名になりました尾木ママこと、尾木直樹先生の講演会を企画し、H23年7月9日の開催に向け、準備を着々と進めていました。しかし、3月1日、記憶にも新しい東日本大震災が起こりました。犠牲者の方々の苦痛や苦労を考えると、我々だけが楽しんでいいものかと考え、記念事業、並びに、同窓会の開催を見合わせる決断を下しました。

しかし、日本全国が不安で暗く沈み込む中、いつまでも前を向かなくて良いのかという意見が出てくるようにもなりました。最終的には総会・同窓会は開催し、電力不足のために始まった輪番停電がいつまで続くか分らないというリスクを考慮して、記念事業は中止という判断を下しました。ポスター、パンフレットの作成や会場の予約準備など全ての準備が整った折の中止判断でもありました。記念事業中止を受け、協賛金は全額返還させて頂きましたが、協賛金に賛同して頂けました企業や事業者の皆様、並びに心待ちにして頂いた方々に心よりお詫び申し上げます。また、今後の河高同窓会活動につきましてもご協力頂けます様、お願い申し上げます。

波乱続きの第32回実行委員より在校生の皆様に言えることは、将来は本当に予測が出来ません、今という貴重な時間を無駄にせず有意義に過ごし、悔いが残らないように精一杯頑張って欲しいということです。これから就職、進学という社会という大海原へ入って行くわけですが、自分の意見、考えをしっかりと持ち、前へと進んでいって欲しいと思います。Boys be ambitious!

頑張りました！ 母校部活動報告

山梨県総合体育大会
男子　総合　11位
女子　総合　8位

関東大会以上

漕艇部
全国選抜大会(3月)
男子　シングルスカル　震災のため中止
女子　クォドルプル　震災のため中止
関東大会(6月)
男子　シングルスカル　5位入賞
ダブルスカル　準決勝進出
クォドルプル　3位入賞
女子　シングルスカル　5位入賞
ダブルスカル　敗者復活戦敗退
クォドルプル　5位入賞
国体関東ブロック予選(7月)
4部門に出場、3部門で国体へ
インターハイ(8月)
男子　シングルスカル　準決勝進出
クォドルプル　準決勝進出
女子　ダブルスカル　準々決勝進出
クォドルプル　準々決勝進出
国民体育大会(10月)
男子　シングルスカル　準決勝進出
クォドルプル　準決勝進出
女子　クォドルプル　敗者復活戦敗退
関東選抜大会(11月)
男子　シングルスカル　敗者復活戦敗退
ダブルスカル　優勝
→3月の全国選抜大会へ
クォドルプル　6位入賞
女子　シングルスカル　敗者復活戦敗退
クォドルプル　2位入賞
→3月の全国選抜大会へ

卓球部
全国選抜大会(3月)
女子　団体　震災のため中止
関東大会(6月)
女子　団体　1回戦敗退
シングルス　3回戦進出
インターハイ関東ブロック予選(6月)
女子　団体　1勝1敗
ブロック敗退
インターハイ(8月)
女子　シングルス　2回戦進出
ダブルス　1回戦敗退
関東選抜大会(12月)
女子　団体　2勝2敗
20校中13位

剣道部
全国選抜大会(3月)
男子　団体　震災のため中止
関東大会(6月)
男子　団体　予選リーグ敗退
インターハイ(8月)
男子　団体　予選リーグ敗退
個人　2回戦進出
全国選抜大会山梨県予選
男子　団体　優勝
→3月の全国選抜大会へ

陸上部
関東大会(6月)
男子　100m　予選敗退
円盤投げ　予選敗退
やり投げ　予選敗退
女子　走り高跳び　予選敗退
関東新人大会(10月)
女子　走り高跳び　予選敗退
5000m競歩　予選敗退

カヌー部
関東大会(6月)
男子　K－1　2位入賞
K－2　2位入賞
女子　K－1　4位入賞
国体関東ブロック予選(7月)
3部門に出場、3部門で国体へ
インターハイ(8月)
男子　500m　K－1　6位入賞
K－2　準決勝進出
200m　K－1　準決勝進出
K－2　8位入賞
女子　500m　K－1　準決勝進出
200m　K－1　準決勝進出
関東選抜大会(9月)
男子　K－1　6位入賞
国民体育大会(10月)
男子　500m　K－1　2位入賞
200m　K－1　準決勝進出
女子　500m　K－1　準決勝進出
200m　K－1　準決勝進出

弓道部
関東大会(6月)
男子　団体　予選敗退
関東選抜大会(9月)
男子　個人　予選敗退
全国選抜大会山梨県予選(1月)
女子　個人　2位入賞
→3月の全国選抜大会へ

写真部
山梨県芸術文化祭(11月)
個人　芸術文化祭賞
→8月の全国大会へ
国土交通省主催
川の写真コンテスト(12月)
個人　銀賞
関東大会(2月)
個人　出場

なぎなた
関東大会(6月)
演技　予選敗退
試合競技　個人　予選敗退

ゴルフ
関東大会(6月)
個人　32位
関東ジュニア大会(8月)
個人　26位
国民体育大会(10月)
団体　22位